

天候不順の影響大きく、売上低迷に拍車

9月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

台風や長雨の影響による、客足・宿泊客の減少や季節商品の売れ行き悪化に加え、工事現場や配達の遅延が発生。秋需に期待する一方、公共工事の先細りやOPECの減産合意に伴う今後の燃料価格の動向を懸念している。

製造業	食料品		パンは雨や台風の影響で客足が減少し、資金繰りも厳しい状況である。菓子はお彼岸等の行事で売上が増加し、客足も良好である。酒造は純米吟醸酒を中心に売上が好調となる。食肉は天候不順による豚の育成不足で出荷量が減少している。
	繊維・同製品		桐生織物は和装織物関連の展示会・販売会を各地で開催するも、悪天候により出足は低調となる。繊維製品は天候不順の影響等で百貨店での婦人服の売上が減少している。レースは従業員の高齢化が進み、対策に苦慮している。
	窯業・土石製品		生コンは公共工事の発注量に対して生コンの出荷実績が物足りない状況である。コンクリートブロックは台風や長雨の影響で現場作業が停滞している。コンクリート製品は公共工事の発注が終盤に入中、各社とも売上維持に苦戦している。
	機械・金属		円高等による大手企業の景況感の悪化に加え、在庫調整の影響で生産量が落ち込む。富士重工関連はSUV車等の売れ行きが好調で、国内・米国ともに操業度が上昇している。鍍金は資金難による廃業が目立ち始める。
	その他の製造業		木材は値上がり分を製品価格に転嫁できず「原料高・製品安」の傾向にある。紙加工品は天候不順が野菜関連等向けに悪影響を及ぼしている。印刷は年末に向けて受注増が期待される中、生産性向上による利益確保が課題である。
非製造業	卸売業		前橋卸は人材確保に加え、新たに倉庫不足の課題が生じる。太田の機械器具卸は若年者を対象に採用活動を実施するも結果に結びつかず。農産物卸は台風の影響による供給不足で、北海道産の根菜等の相場が高騰している。
	小売業		燃料小売は悪天候で需要が減少する中、OPECの減産合意による小売価格の上昇を懸念している。生花小売は、敬老の日や彼岸等の需要期が続くも、台風と長雨で需要が伸び悩む。商店街は天候不順により各地で客足が遠のく。
	サービス業		温泉旅館は祝日の並びの悪さや天候不順により各旅館とも悪化傾向にある。不動産取引は前橋市域で人口減少を背景とした空き家の増加や賃貸アパートの空室率上昇等の課題が山積している。建物設計は設備設計者の人手不足が顕著である。
	建設業		建築工事は公共工事の前倒し発注で今後の大幅な落ち込みを危惧している。電気工事は事業規模による格差が拡大する中、小規模事業者等の廃業が散見される。塗装工事は悪天候の影響で竣工が遅れ、収益にも影響を及ぼしている。
	運輸業		台風や長雨の影響で、一部では延着や荷量確保に苦慮する場面が見られる中、OPECの減産合意による今後の燃料価格の動向を注視している。小型運送は季節商品を中心とした食料品や車の部品の長距離輸送等に動きが見られる。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 113.1(前月比+2.9%)「県統計課・8月」
- 住宅着工戸数 1,170戸(前年同月比▲14.8%)「県建築住宅課・8月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規2.00倍:有効1.48倍「群馬労働局・8月」
- 大型小売店販売額 195億円(前年同月比▲1.5%)「経済産業省・8月」
- 消費者物価指数(全国) 99.7(前年同月比▲0.5%)「総務省統計局・8月」
(鉱工業生産指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)